

放射線技術科支部会報

Vol.10 1997年8月1日発行

発行人 末森慎治（1期生）
編集 黒住 晃（4期生）
編集発行 川崎医療短期大学同窓会
（松丘会）放射線技術科支部
〒701-01 倉敷市松島316
☎086-462-1111（3055）
印刷 西日本法規出版株式会社

同窓会に対して思うこと

小野田市立病院 重 兼 博 之（4期生）

放射線技術科支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、支部を支えられておられる役員の方々に感謝すると共に敬意を表したいと思えます。

短大を卒業して14年。そろそろ技師としては油がのってきてもいい頃だと思うのだが、なかなかそうにはいきません。これだけ技師の仕事内容が拡大していき、さらにペーシェントケアを含めた医療環境が日進月歩に変わっていくと、一つの事だけにこだわっているとどんどん取り残されていく気がして限界を感じる事さえあります。技師になった頃はおぼえなくてはならない事が多くがむしゃらに勉強し前へ前へ突き進んでいたように思いますが、ここ数年は妥協することをおぼえてしまって「まあいいか」と立ち止まる事の方が多くなったような気がします。反省しきりです。改めて技師の大変さ、卒後教育の重大さを痛切に感じている次第です。同時に十分な教育が受けられる4年制大学の早期実現を熱望します。

さて、「同窓会」を辞書で調べますと「学んだ学校が同じである会」とあります。抽象的な言い方ではありますが、とても重みのある言い方でもあるように思います。何故なら放射線技師会や技術学会等は脱会すれば「元会員」になりますが、「元同窓会会員」という言葉は一生存在しないからです。それ故、同窓会にはもっと身近で活動的な存在であってほしいのです。では、どうすれば身近に感じることができるでしょうか。まず考えつくのが Vol.9 で田中さんが述べられているように同窓会を学術大会の開催地で行ったらどうかということです。そうすれば同窓会に少しは触れる事ができます。しかし、これでは参加できるのは一握りの方だけに限られます。そこで倉友会のような地域支部の存在が重要になってくるのではないのでしょうか。それまでは正直言って、同窓会といえば古きよき時代を思い浮かべたり、短大の現況を知る手段でしかありませんでした。しかし、倉友会は同窓会というかたいイメージを打ち破るものでした。もちろん古きよき時代を語り合う親睦の場でもありますが、主目的はあくまでも会員の技術交流、情報交換を含む自己研鑽の場であるということです。それも、学術大会のように MTF がどうかといった難しいものではなく、日頃そんなに熱弁しないようななじみ易い日常直面している問題やなかなか聞きづらい疑問をテーマにしていることです。それは、同窓会が先輩・後輩という人間関係で成り立っているが故にできることだと思います。

大きな事をするには、小さなことから始めるのが大切なのではないのでしょうか。毛利元就の話の中に“三本の矢”というのがあります。これは、3人の兄弟が一つにまとまればより強いものになるという意味だそうです。同窓会が一本の矢のまま存続していこうとするならいずれ行き詰まってしまう、ごく一部の方だけのものになってしまうような気がします。しかし、多くの矢つまり多くの地域支部がまとまればより強固な同窓会ができるのではないのでしょうか。そうすれば、会員の方々もより

同窓会を身近に感じるようになるだろうし、運営する役員の方々もやり易くなるのではないのでしょうか。また、学会の開催地で同窓会を開く時もその地域支部の方々に頼めばよりスムーズに事が運ぶのではないのでしょうか。ですから、役員の方々には地域支部の重要性を再確認していただき、倉友会のように広い範囲でなくても県単位でもいいから地域支部を増やしていき、全会員が自主的に参加できるような同窓会作りを目指していただきたいと思います。

最後になりましたが、私も微力ながら倉友会を通じて同窓会に貢献したいと思いますと共に“川崎卒”の名に恥じぬよういっそう精進していきたいと思いますのでこれからもよろしくお願い致します。

第8回倉友会総会に参加して

運営委員 水 上 洋（14期生）

平成8年12月7日、八幡にある大谷会館にて第8回倉友会総会が開催されました。今回の参加人数は約20人程度ではほぼ例年と同じでした。まず初めに、小川会長から、地域ごとのまとまりを強化する上で、大切な力と成りうる新人との交流を図る場が夏、北九州で実現したとの報告がありました。

平成8年度決算報告の中では、会費納入状況の話がありましたが、未納入者がまだ多く、前年度と同様の方法で意識改善の対策や、経費節減をしていくとのことでした。

平成9年度事業計画案では、総会そのもの自体も討議されました。その内容は、総会を廃止してみてもどうか、また開催するにしても11月末から12月初旬は忙しいので時期の変更、開催場所も今まで通例的に、みんなが集まりやすい北九州が総会の場所に選ばれてきましたが、責任さえ持てれば執行部一任という形ではなく、もっとオープンにして場所を決めてみてはどうかなど、この開催場所に関しては、支部が山口、九州地域ということもあって、たくさんの意見が出されました。また予定では来年は山口で総会を計画しているとのことでした。

そのあと特別議題として、執行部一任で役員改選が行われました。これまで長い間会長を務めてこられた小川会長から、会をさらに Active にする上で、若い力、発想、それにともなった行動力は不可欠で、そういう意味で、夏に率先して16・17期生合同歓迎会を開催した JR 九州病院の塩谷さんが任命されました。また同時に監査も2人改選されました。

以上が、出張報告ですが、最後に、私が会に参加して感じたことを述べさせていただきます。

私は今、岡山で就職して働いていますが、母校がすぐそばにあり、多くの先輩方も近くにいるということで、心のどこかにそれらにあまえているのかもしれませんが。そういう点においては、母校を遠く離れた倉友会は、誰にも「よりかかる」ことができない為、常に自分たちだけで会を発展させなければならない状況にあり、会則にも謳われている「より自主的である」ことが、ごく自然であったのでしょうか。この精神は私も大いに見習う必要があります、実践すべきことだと思います。それには、まず、自分は川崎医療短期大学の卒業生だということを改めて自覚し、職場や家族、友人などのいろいろな人々の中での位置づけをもう一度把握し直し、自分に出来ることを精一杯やっていく必要があるのではないのでしょうか。これらのことをやっていくにはかなりの努力が強いられますが、そういう地盤がガッチリ固められて、会員一人一人が、単なる同窓会でないこの「会＝地域支部」を考えていけたら、急速によりよい方向に進んでいくのではないのでしょうか。今回、この岡山から離れた倉友会総会に参加して、忘れかけていた、どことなく「ハングリー精神」に似た感情が沸き起こったのも事実です。

私達は、岡山にいようと、九州にいようと、川短の卒業生ということには変わりありません。

そしてその卒業生が集う場所がその地域の「支部」なのです。そこで、互いに今考えている事を話し合い、刺激し合うのが本来の姿だと思います。それには会員皆様のより一層の協力が必要なのはいうまでもありません。

九州・山口地域支部（倉友会）の新規役員人事は平成8年12月より

支 部 長 塩谷 正貴（8期生）JR九州病院
副支部長 増矢 勝史（6期生）下関厚生病院
庶 務 森山 俊明（3期生）健和会大手町病院
会 計 山之内 雅幸（16期生）JR九州病院

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）代議員会報告

日時：平成9年5月17日（土）15：00～16：30

場所：ホテル倉敷 4F会議室

放射線技術科支部代表出席者：末森 慎治 その他代議員

1. 平成8年度事業報告（北山会長）

資料に基づいて以下の事業報告がなされすべて承認された。

(1) 同窓会テレホンカードの図案の公募

最優秀賞に医用デザイン科第1期生の和氣佐枝子さんに決定した。合わせて3万円相当の記念品を贈呈した。なお、優秀賞の作品2点も選び1万円相当の記念品を贈呈した。今後この図案でテレホンカードを作成する。希望者には事務局に連絡すれば実費で販売も行う。

(2) 医用デザイン科の支部開設

支部長：根木麻子

各科理事：伊丹真一，瀬尾卓志

医用デザイン科開設にともない同窓会会則の改定を行い理事定数を18名から20名にした。

(3) 会費改定

入会金5000円，会費10000円とし同窓会会則の改定を行った。

(4) 会員名簿の発行

平成8年7月15日に第22号とし全体名簿80部，新卒者名簿400部，各科支部名簿810部を発行した。

(5) 卒業生への記念品の作成・贈呈（平成8

年3月14日）

テレホンカード（50度数）

(6) 学園祭への協力（平成8年10月13～14日）

パーソナリティコンテストおよび会長賞を贈呈，各10000円

(7) 役員のパ遣

ア) 平成8年度川崎医療短期大学入学式（平成8年4月8日）会長

イ) 平成8年度川崎医療短期大学卒業式（平成9年3月1日）会長

(8) 短大学報「同窓会だより」の原稿執筆

ア) 第31号「同窓会テレホンカードの図案募集」北山会長

イ) 第32号「通信教育部医療秘書科支部より」支部長藤田

(9) その他

ア) 弔電 初代学長（学園長）川崎祐宣先生の葬儀（平成8年7月6日）

祝電 秋山清水画伯三木記念賞受賞（平成8年8月21日）

イ) 各会議が以下の通り行われた。

代議員会（8/5/18），理事会（8/4/10），常務理事会（8/5/15，1/22），部局会議，渉外調査局（8/4/25，9/3/8）

2. 平成8年度会計決算報告（坪井事務局長）

資料に基づいて会計報告がなされ承認された。

3. 平成8年度監査報告（谷原監査）
同窓会の会計ならびに事業計画通り妥当適正に行われている事が報告された。
4. 各科支部平成8年度事業報告および会計決算報告（各科支部長）
資料に基づいて各支部より事業報告ならびに会計決算報告がなされすべて承認された。
5. 平成9年度事業計画（北山会長）
- (1) 同窓会名簿の販売
同窓会誌第23号として発行する。6月末までに購入希望をとり8月末から9月初旬に発送する。この中にテレホンカードの図案4点も掲載する予定である。
 - (2) 卒業生への記念品（例年通り）
 - (3) 名簿管理・発行（例年通り）
 - (4) 同窓会入会式（例年通り）
 - (5) 学園祭への補助（例年通り）
6. 平成9年度会計予算案（坪井事務局長）
資料に基づいて会計予算案が提案され、承認された。
7. 各科支部平成9年度事業計画（各科支部

- 長）
資料に基づき各科支部より事業計画が述べられ承認された。
8. 新代議員の紹介
資料に基づき紹介がなされた。放射線技術科支部は、18期生の鈴木真琴氏が代議員として紹介された。
9. その他（北山会長）
- (1) 現在の会員数（卒業生数7617名）
放射線技術科支部は、941名の卒業生となった。
 - (2) インターネット利用について
同窓会としては、現在開設をしていないが今後医科大学、福祉大学同窓会と調整を行い川崎学園のホームページにリンクさせてもらえる様に交渉を行っていきたいとの回答があった。ちなみに川崎学園のホームページは、<http://www.kawasaki-m.ac.jp> となっています。インターネットをお持ちの方は一度アクセスしてみてください。

平成9年度 第1回代表者会議事録

日時：平成9年5月31日（土）

午後3時～午後4時30分

場所：川崎医療短期大学 300号教室

| | | |
|-----|-------|--|
| 出席者 | 支部長 | 末森 慎治 |
| | 副支部長 | 荒尾 信一 松浦 潔行 |
| | 会計 | 天野 貴司 坂 麻由香 |
| | 監査 | 富田 正二 小椋 一作 |
| | 運営委員長 | 黒住 晃 |
| | 運営委員 | 水上 洋 |
| | 代表者 | 1期生 井上 博一 2期生 三村 浩朗 4期生 代)多田 善昭 5期生 山本 浩之 |

8期生 大島 康

9期生 川崎 晋禎

10期生 吉田 耕治

12期生 角場 幸記

14期生 甲谷 理温

15期生 石川 哲也

16期生 内田 敏敦

17期生 北谷 文章

18期生 村 正勝

九州・山口地域支部長 塩谷 正貴

（以上23名）

議事の経過および結果

末森支部長のもとに平成9年度第1回代表者会を開会、挨拶の後、支部長末森氏を議長に選出し、議事に入った。

- (1) 支部役員について (末森)
- 平成9年4月より第18期生代表者に村正勝氏 (川崎医大附属病院) が新任
 - 平成8年末より九州・山口地域支部長を小川正人氏 (1期生) より塩谷正貴氏 (8期生) へ改選
- (2) 平成8年度事業報告 (末森)
- 川崎医療短期大学同窓会 (松丘会) 代議員会報告」参照
 - 会報の発行 (Vol 9, Vol 10 (平成9年度に発行予定))
 - 会員名簿の充実
 - 九州・山口地域支部への助成
 - 九州・山口地域支部平成8年度総会への派遣 (水上)
 - 第8, 12, 17期生同窓会開催に助成
 - 支部会費の徴収 (年会費1000円)
 - 運営委員会及び代表者会の開催 等
- (3) 平成8年度決算報告 (天野)
- (4) 平成8年度会計監査報告 (小椋)
- (5) 平成9年度事業計画案 (末森)
- 会報の発行を原則として年1回とする。
 - 放射線技術科支部発足20周年記念事業の役割分担について
 - 会員名簿の発行をふまえての充実 (Vol 11で発行予定)
 - 各期, 各地域支部同窓会等への助成
 - 会費の徴収年1000円で予定
 - 運営委員会及び代表者会の開催
 - その他例年に従い事業を行う予定である
- (6) 平成9年度予算案
- 〈要望〉
- 代表者会レベルでの会議において県外からの出席者には交通費が支払われているのが現状であり本年度予算案から見ても県内からの出席者においても交通費を支出してもよいのではないかと?
 - 平成7年度第2回代表者会議でも意見があった出席者へのジュース等のサービスは
- どうなったのか?
- 会報の発行の大幅な遅れは会員への原稿をお願いしても返送してくれないことも原因の一つである。そこで忙しい中原稿を書いてくださった会員にテレホンカード一枚でも謝礼として送封したいのだが?
- 〈応答〉
- 本会議より500円の交通費, 出席者へのジュースのサービス, 会報の原稿を書いてくださった会員へのテレホンカードの謝礼を考えてよいか?
- 異議なし。承認された。
- (7) 九州・山口地域支部総会 (平成8年12月7日開催) への派遣報告 (水上)
- 「第8回倉友会総会に参加して」参照
 - 平成9年度倉友会総会への参加者は支部長一任ということで承認された。
 - 塩谷地域支部長から平成9年度倉友会総会は山口・湯田温泉で計画している。ぜひ宿泊にてご参加下さいとの要望があった。
- (8) 放射線技術科支部発足20周年記念事業について (荒尾)
- 日程 平成11年 (1999年) 7月末
 - 総務担当者: 荒尾 信一氏
 - 記念講演責任者: 松浦 潔行氏
 - 記念式典責任者: 井上 博和氏
 - 記念パーティー責任者: 今井 章人氏
 - 20周年記念誌責任者: 黒住 晃氏
 - 記念品責任者: 水上 洋氏
 - 会計責任者: 天野 貴司氏
- 以上にきまったが初めて実施する大きなイベントなので大変だとは思いますが会員の方々の御協力もお願いしたい。
- (9) 支部会報について (黒住)
- 放射線技術科支部発足20周年記念事業のPRに努める。
- (10) その他 (末森)
- インターネットの利用について
- 「川崎医療短期大学同窓会 (松丘会) 代議

員会報告」9.(2)参照

- ・香川県地域支部設立総会参加について
平成9年6月21日高松市において設立総会
が予定されている。本部にも末森，松浦，
荒尾，黒住の4氏の参加依頼がきており出
席予定である。
- ・川崎医療短期大学主催の勉強会について

「トピックス」参照

以上，提案及び報告事項を承認した。

平成8年度決算報告

| 収入の部 科 目 | 決算 | 備 考 |
|-------------|----------|--|
| 前年度繰越金 | 582542円 | |
| 同窓会(松丘会)援助金 | 130000円 | |
| 平成8年度会費 | 604000円 | |
| 第17期生支部会費 | 44000円 | 44人×1000円 |
| 利息 | 2231円 | |
| 合 計 | 1362773円 | |
| 支出の部 科 目 | 決算 | 備 考 |
| 会誌印刷費 | 73233円 | 会誌Vol.9印刷費 73233円 |
| 通信費 | 68260円 | 会誌Vol.9発送費 66240円 切手代 1460円 支部会費納入者リスト発送費 560円 |
| 事務費 | 9755円 | 封筒代 8755円 コピーカード代 1000円 |
| 交通費 | 19760円 | 岡山一小倉(1人) 19760円 |
| 地域支部助成金 | 22500円 | 倉友会会費納入人数 (75口×300円) |
| 同窓会開催助成金 | 28600円 | 第8期生 10000円 第17期生 8800円 第12期生 9800円 |
| 積立金特別会計繰入金 | 100000円 | |
| 合 計 | 322108円 | |
| 残 高 | 1040665円 | |

積立金特別会計決算

| 科 目 | 決算 | 備 考 |
|---------|---------|---------------|
| 前年度繰越金 | 200000円 | |
| 一般会計繰入金 | 100000円 | |
| 利息 | 120円 | |
| 合 計 | 300120円 | (平成9年3月31日現在) |

平成9年度予算案

| 収入の部 科 目 | 決算 | 備 考 |
|-------------|----------|----------------|
| 前年度繰越金 | 1040665円 | |
| 同窓会(松丘会)援助金 | 170000円 | |
| 第18期生支部会費 | 64000円 | 64人×1000円 |
| 平成9年度支部会費 | 500000円 | 500人(見込)×1000円 |
| 利息 | 1432円 | |
| 合 計 | 1776097円 | |

| 支出の部 科 目 | 決算 | 備 考 |
|-------------|----------|--------------------------|
| 総会運営費 | 200000円 | |
| 会議運営費 | 100000円 | |
| 会誌印刷費 | 300000円 | |
| 通信費 | 300000円 | |
| 事務費 | 50000円 | |
| 交通費 | 200000円 | |
| 同窓会開催助成金 | 180000円 | |
| 地域支部助成金 | 31500円 | 倉友会会費納入人数 (105口×300円) |
| 積立金特別会計繰入金 | 300000円 | |
| 予備費 | 114597円 | |
| 合 計 | 1776097円 | |

積立金特別会計予算案

| 科 目 | 決算 | 備 考 |
|---------|---------|---------------|
| 前年度繰越金 | 300120円 | |
| 一般会計繰入金 | 300000円 | |
| 合 計 | 600120円 | (平成9年3月31日現在) |

監査報告書

平成9年5月31日

川崎医療短期大学同窓会(松丘会)

放射線技術科支部

支部長 末森 慎治 殿

放射線技術科支部

監査 富田 正二

小椋 一作

平成8年度の会計及び会務の運営状況について平成9年5月31日川崎医療短期大学放射線技術科教員研究室において監査を実施した。その結果をここに報告する。

1. 会計

本会の平成8年度期末監査を本日実施しました。会計処理については適正に処理され，かつ，保管されており，代表者会において承認された予算に基づき会計が執行されていることを認めます。

2. 会務ならびに事業

平成8年度の事業計画に基づき，実施資料や報告書，又会務運営に関する書類を閲覧した結果，支部会報にも掲載されているとおり精力的かつ，計画通りに会務ならびに事業は遂行されたことを認めます。

放射線技術科第8期生同窓会開催報告

日 時 平成8年9月22日(日) 18:00～

場 所 一次会 山佐本陣

二次会 わんぱく小僧

出席者 荒尾信一, 上松昌弘, 銅山(内田)一実, 江口教久, 小椋一作, 小野 敦, 大島 康, 松居(奥野)由美, 塩谷(勝部)久美, 児玉敏明, 小橋義範, 佐藤 整, 塩谷正貴, 飯村(杉原)朱美, 田淵昭彦, 田渕 隆, 高畑 隆, 角野(筒井)紀子, 中務厚志, 西村泰之, 日置元大, 古角(昼田)真由美, 松本圭司, 松田(三谷)智子, 三宅 学, 山田誠一, 森(山本)美映子, 北山 彰(川崎医療短大)

放射線技術科第12期生同窓会開催報告

日 時 平成9年2月22日(土) 19:00～

場 所 一次会 山佐本陣

二次会 一銭蒸気

出席者 曾根(遠藤)加代子, 浮田智子, 大岡美鈴, 大月寛司, 角場幸記, 金戸恵子, 柏 扶美子, 倉田博司, 源内美佳, 岩本(坂尻)好江, 角野(迫)まゆみ, 佐々木博章, 長廻 良, 長島和子, 山下(難波)清美, 小橋(藤原)美由珠, 村田勇一郎, 大和みずほ, 横田紀子, 西本(吉岡)理恵, 吉永博充,

※招待: 西村明久先生, 北山 彰先生(川崎医療短期大学)

放射線技術科第17期生同窓会開催報告

日 時 平成9年2月22日

場 所 一次会 ジャック and ジル

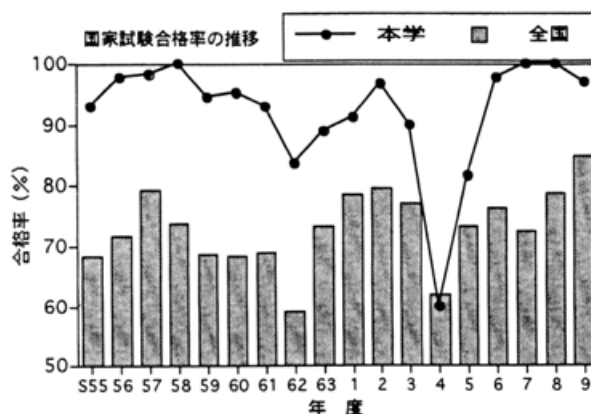
二次会 アメリカ合衆国(カラオケ)

出席者 石井聖一, 石田香織, 北須賀淑絵, 北谷文章, 黒川禄代, 阪上理恵, 佐保亮介, 住田尚輝, 田中優子, 谷 忠司, 徳重博子, 中野貴美子, 檜崎美保, 西本直志, 林田和美, 松岡光貴, 丸川真美, 三浦孝子, 水江弘子, 元田興博, 森岡麻美, 安井謙一郎, 山根良子, 横内千恵, 内田朋江, 三好淑子, 村井秀樹, 馬場 恵

トピックス

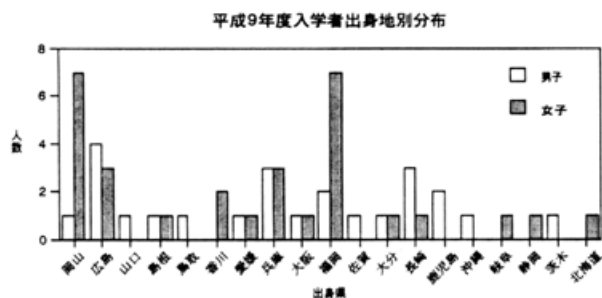
[国家試験]

第49回診療放射線技師国家試験合格発表が平成9年4月15日に行われ,合格率96.9%(64名受験,62名合格)であった。全国の合格率は84.8%(2193名受験,1859名合格)で例年になく全国の合格率が高い国家試験であった。



[新入生]

放射線技術科は本年度、第21期生が入学した。入学者は54名で男子24名、女子30名。ここ数年、入学者は女子の人数が男性を上回っている。入学者の出身地は、下図のとおりである。4月9日から新入生オリエンテーションを実施し、西暦2000年の卒業を目指してスタートを切っている。



[教員人事]

学科設立以来、主任教授を務めていただいた西下創一教授が平成9年3月末をもって御退職され、新学科主任として今城吉成教授が着任された。今城主任は川崎医科大学放射線医学(治療)教室教授、川崎医科大学附属病院放射線科(治療)部長を兼任されている。また、新採用として本学第10期卒業生の林明子さんを助手として迎えた。林助手は卒業後、杏林大学医学部附属病院に勤務されていた。両先生のこれからますますのご活躍を期待している。

学会の開催について

川崎医療短大では、本学卒業生を中心とした学習会を計画している。趣旨は卒業生全体のレベルアップと短大の利用拡大とし、平成9年9月より開催予定である。(2ヶ月に1回程度、土曜日午後)第1回のテーマは未定。今後の方針のために日常業務で困ったこと、疑問に思うことなどテーマを募集している。

この件についての問い合わせおよび細かい日程については、川崎医療短期大学 放射線技術科 北山(連絡先 086-462-1111(内線

3021)), または荒尾(内線3026)までお願いします。

住所不明者リスト

- 第1期生 長島由紀子(粟屋)
- 第2期生 芦原 裕美(難波)
- 第3期生 長島 豪則
五十嵐典子(福田)
清水 晋二
- 第4期生 大迫みち代 梶川 真弓
- 第5期生 中谷 良江(岡本)
政宗 真次 藪 高志
山本 麻美 中島幸知美
- 第6期生 西山 紀子 日高 徹
平松 理光 村田 佳代
山口 裕之
- 第7期生 山本 有一
- 第8期生 内田 健二
- 第10期生 福満 誠一 中津浜由恵
- 第11期生 立花 寿子 西村 伸二
吉岡 有里
- 第12期生 前田桂一郎 高尾 秀明
平川 満
- 第13期生 小川 絹代
- 第14期生 本田 環(川辺)
- 第16期生 竹熊 香織

平成9年6月27日現在

1999年(平成11年)3月
放射線技術科20期生卒業!
1999年、夏 何かがおこりそうな予感!!
放射線技術科支部では発足20周年記念として次のような事業を企画しています。
◇記念講演
◇記念パーティー 等
他に御希望、御意見がありましたら会費振込用紙の通信欄に御記入下さい。